

第 20 回中央大学学術シンポジウム  
20<sup>th</sup> Chuo Academic Symposium

リージョンの時代と島の自治  
ーバルト海オーランド島と東シナ海沖繩島の比較研究ー

Self-Governance of Islands in the Era of Regions;  
A Comparative Study of the Åland Islands in the Baltic Sea  
and the Ryukyu Islands in the East China Sea

日 時 : 2004 年 12 月 18 日 (土) 13:00~18:15  
場 所 : 中央大学後楽園キャンパス 新 3 号館 10 階 大会議室  
担当研究所: 社会科学研究所

企画趣旨

今日、沖縄はアジア・太平洋地域にまたがる「U.S.セントリック・システム」(G・アリギ)の軍事的拠点として、ゲオポリテカル(地政学的)に重要な位置を占めている。これに対して、島内外から米軍基地を撤去し、島の経済的自立と自治権を強化すべきだとの主張が繰り返されている。他方、フィンランドとスウェーデンの境界に位置するオーランド島は、戦乱のつづいたバルト海において 1921 年に国際連盟の調停により非武装・中立地域となり、フィンランド領内で独特の自治権をもち、地域の平和に寄与して今日に至っている。この調停の際、国際連盟事務次長であった新渡戸稲造が重要な役割を果たしたことも、日本との奇しき因縁を物語っている。

2004 年度の中央大学学術シンポジウムとして開催される本シンポジウムは、上記の認識をふまえて 2002 年度に発足した中央大学の 9 研究所の共同プロジェクト、「リージョンの時代と島の自治ーバルト海オーランド島と東シナ海沖繩島の比較研究」の 3 年間の研究成果を公表し、ゲオポリテカルに重要な位置を占める「島の自治とその条件」を探ろうとするものである。自然環境も歴史もまったく異なる 2 つの島の比較から、何を引き出すことができるか。そのヒントになる諸概念は第 1 セッションと第 2 セッションの表題に掲げてある。これらを手がかりとしながら先の課題に迫りたいと思う。

また、本シンポジウムでは特別セッションを設け、沖縄とオーランドからゲスト・スピーカーを招聘し、それぞれの行政の長としての経験をふまえた貴重な講演をお願いしている。これによってシンポジウムの内容はより深められることであろう。

プログラム

日 時 : 2004 年 12 月 18 日 (土) 13:00~18:15

13:00 開会  
総合司会 中央大学商学部教授 酒井正三郎  
主催者挨拶 中央大学学長 角田 邦重  
開会の挨拶 中央大学社会科学研究所所長 川崎 嘉平

13:20~15:15 インTRODクシヨン・第 1 セッション  
司会 中央大学経済学部教授 徳永 英二  
中央大学商学部教授 高橋 由明

INTRODUCTION 中央大学法学部教授 古城 利明

第 1 セッション 「フロンティア・自立・自治」

報告 [環境] 琉球大学法文学部教授 前門 晃  
[経済・財政] 中央大学経済学部教授 塩見 英治

[法・行政] 東京大学法学部教授 交告 尚史  
コメント 中央大学経済学部教授 田中 嘉成  
中央大学商学部教授 酒井正三郎  
中央大学法学部教授 中島 康予

討論

15:15~15:35 コーヒー・ブレイク

15:35 特別セッション・第2セッション

司会 シェフィールド大学教授 フック, グレン  
ヘルシンキ大学助教授 ライティネン, カウコ

特別セッション (社会科学研究所フォーラム)

オーランド嶋政府長官 ナウクレール, エリサベート  
“The Autonomy of Åland; A Model to be copied or a Source of Inspiration?”  
参議院議員, 前沖縄県知事 大田 昌秀  
「沖縄の自立と基地問題」

第2セッション「アイデンティティ・リージョン・平和」

報告 [文化・教育] 中央大学文学部教授 新原 道信  
[リゾニズム] 弘前大学人文学部助教授 柑本 英雄  
[国際政治] スtockホルム大学教授 池上 雅子

コメント 中央大学法学部教授 川原 彰  
シェフィールド大学教授 フック, グレン  
中央大学法学部教授 臼井 久和

討論

18:10 閉会の挨拶 中央大学人文科学研究所所長 上坪 正徳

## 20<sup>th</sup> Chuo Academic Symposium

Self-Governance of Islands in the Era of Regions;  
A Comparative Study of the Åland Islands  
in the Baltic Sea and the Ryukyu Islands in the East China Sea

December 18, 2004, 13:00~18:15 at Korakuen Campus of Chuo University

### Program

13:00

Opening

13:20

Introduction and Session 1

Chairman: TOKUNAGA, Eiji, Prof. of Chuo Univ.  
TAKAHASHI, Yoshiaki, Prof. of Chuo Univ.  
Introduction: FURUKI, Toshiaki, Prof. of Chuo Univ.

Session 1 Frontier/Independence/Self-Governance

Presenters: MAEKADO, Akira, Prof. of Ryukyu Univ.

SHIOMI, Eiji, Prof. of Chuo Univ.  
KOKETSU, Hisashi, Prof. of Tokyo Univ.  
Commentators: TANAKA, Yoshinari, Prof. of Chuo Univ.  
SAKAI, Shozaburo, Prof. of Chuo Univ.  
NAKAJIMA, Yasuyo, Prof. of Chuo Univ.

15:15~15:35 Coffee Break

15:35 Special Session and Session 2

Chairman: HOOK, Glenn, Prof. of Sheffield Univ.  
LAITINEN, Kauko, Assistant Prof. of Helsinki Univ.

Special Session :

NAUCLÉR, Elisabeth, Director of the Administration, Government of Åland

OHTA, Masahide, Member of the House of Councilors, Japan

Session 2 Identity/Region/Peace

Presenters: NIIHARA, Michinobu, Prof. of Chuo Univ.  
KOJIMOTO, Hideo, Assistant Prof. of Hirosaki Univ.  
IKEGAMI, Masako, Prof. of Stockholm Univ.

Commentators: KAWAHARA, Akira, Prof. of Chuo Univ.  
HOOK, Glenn, Prof. of Sheffield Univ.  
USUI, Hisakazu, Prof. of Chuo Univ.

18:15 Closing